

2022.

10月8日[土]—12月4日[日]

開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

休館日：月曜日、10/11[火] *10/10、11/7の月曜は開館

主催：北海道立三岸好太郎美術館

令和4年度第3期所蔵品展
【1F展示室】

蝶



を 追

い かけ て

観覧料 [1F・2F共通]
一般 510 (420) 円
高大生 250 (170) 円

- * ()内は10名以上の団体料金
- * 上記料金で1F「蝶を追いかけて」展・2F「#みまめ」展の両方をご覧いただけます
- * 中学生以下・65歳以上無料
- * 身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（マイロID利用可）およびその介護者（1名）などは無料
- * 高校生は毎週土曜日および学校の教育活動で利用する場合は無料

<学芸員のトーク&シンク>

展示のテーマや作品のみどころ、エピソードなどを学芸員が語ります（定員：5名程度）

日時：10月23日(日)・11月6日(日)・27日(日)
各日午前11時より（約30分）

会期中のイベント情報や、新型コロナウイルス感染症対策の詳細・最新情報につきましては、美術館ウェブサイトでご確認ください。

<所蔵品展展示解説>

解説ご希望の方に所蔵作品の展示解説ツアーを行います

日時：火曜日～土曜日
午後1時～3時の時間帯

解説：北海道美術館協会
解説部ボランティア

定員：1回3名まで

* 解説員その他の都合により休止する場合があります。

札幌に生まれ、鋭敏な感性で次々と詩情に満ちた作品を生み出しつづけ、大正末から昭和初期の美術界でひときわ輝いた画家・三岸好太郎(1903-1934)。31歳という夭折の生涯のなか、最晩年に集中して描いたのが、〈蝶〉と〈貝殻〉をモチーフとする幻想的な作品群でした。

花と戯れ、貝と遊び、雲上にはばたき、海を渡る…。さらにはピンをはねのけ自由へと飛び立つ。そんな蝶のきらめく姿に、画家は何を探し求めたのでしょうか。本展では、三岸がたどりついた夢想・幻惑の世界と、そこにいたるまでの変転の軌跡をたどります。あわせて様々な美術作品に見られる蝶のモチーフも参考紹介。

三岸好太郎（リボン） 1934年頃 北海道立三岸好太郎美術館蔵

mima

北海道立三岸好太郎美術館
MIGISHI KOTARO MUSEUM OF ART, HOKKAIDO